

# 補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

70

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	にしお農業塾事業費補助金		
	農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	農業に関心・意欲が有り、農地を所有しているが農業に携わった経験は少ないが、農地を活用したい人のために基本的な農作物づくりの知識・技術の習得をサポートし、就農者の育成と農地の有効活用を支援する。交付先:西三河農業協同組合		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	470,000円	470,000円	446,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H29	終了年度(予定) H33
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/31受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以内である
	※ 補助対象経費の額	1,451,026円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性			
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

# 補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

70

農林水産課

補助金の名称 （規則・要綱名）	にしお農業塾事業費補助金 農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	4 担い手の育成
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 （可能な限り数値的な目標を記載）	補助期間中の目標を定めていないが、毎年10人前後の塾生を受け入れ、その中から半数あまりの方が、販売農家になることを目指す。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	H25～平成29年度までの5年間に57名の塾生を受入れ、その中から23名の方が販売農家となり出荷をおこなっている。23名÷(57名÷2)=80%	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	進捗が見られる
⑤補助の恩恵を受ける人（受益者）を記載してください。	補助対象先は西三河農業協同組合であるが、にしお農業塾の塾生10名（H29年度）が直接的な受益者となる。しかし、本事業により新たな販売農業者の育成や耕作放棄地の対策や食育事業の推進が図られることから多方面に影響があると考え。	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西三河農業協同組合	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	にしお農業塾では、将来的に所有する農地を活用し、野菜を出荷したいという販売農家を育成すると共に今後増えるであろう耕作放棄地の改善の1つとして効果がある。また、農業塾がおこなう近隣保育園や小学校を対象とした収穫体験等は、食育事業にも寄与している。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	農業塾生育成のために必要な講師料、肥料・農薬代、種苗代等について、実績報告書と収支報告書の提出を求め、提出書類の審査をしている。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成25年04月01日
	改定年月日（最終）	平成29年04月01日

# 補助金見直し基準補足調査票 (第5次実行計画)

70

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	470,000円	470,000円	446,000円	
	補助件数	1件	1件		
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	470,000円	470,000円	
国庫県費等の名称					

## 補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
<b>B</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	<b>見直し</b>		農業は食育や老後の楽しみなど様々な可能性を秘めていると思われるので、他の部署と連携しながら検討していただきたい。			
<b>補助金等検討委員会の主な意見</b>						
市の方向性を再検討し、計画性のある補助金にしていきたい。						